

第29回 ダニと疾患のインターフェイスに関するセミナー

29th Seminar on Acari-Disease Interface

SADI 金沢大会



マダニの宝庫、末森城跡



カクマダニ



遊歩道より望む金沢大学角間キャンパス

開催期間：2021 年 6 月 25 日(土)午後～26 日(日) 午後

会場：石川県河北郡内灘町 金沢医科大学 D53 講義室

ご挨拶

第 28 回ダニと疾患のインターフェイスに関するセミナー（SADI）のホストは、金沢医大医動物学研究室の及川陽三郎と村上 学および金沢大学国際感染症制御学の所 正治の 3 名で務めさせていただきます。今回のセミナーでは、新型コロナ感染症制御の観点から日数を 2 日間とし、現地参加と Zoom を用いたハイブリット開催とさせていただきます。石川県では、ここ数年の間に SFTS（急性熱性血小板減少症候群）および日本紅斑熱の症例が立て続けに発生しました。開催地は、どちらの感染推定地域にもアクセスが良く、マダニの宝庫の末森城跡やカクマダニ群生地の中津市角間にも 1 時間以内で通える地点でもあります（現在、角間の森は、クマ出没のため入山禁止となっております。）。本来なら、バスを仕立てて皆様をご案内すべきところですが、各自、自家用車やレンタカーをご利用いただいての疫学ツアーの形をとらせていただきます（末森城跡へは、私がお案内する予定です。）。また今回、会期中の飲食や送迎バスの提供も致しませんので、ご了承ください。

金沢市は古い町並みと近代的景観の入り混じった観光地です。また、能登地方は温泉や新鮮な魚介類の豊富な地域です。各自、お楽しみいただけたらと思います。

近年、各種の学会や研究会で、Zoom と現地開催を混合したハイブリット開催が導入されておりますが、技術的に難しい面もあり、慣れない運営でご迷惑をおかけすることも多々あるかと思います。皆様には、積極的にご参加いただき、現地とオンラインという空間の壁を越えた議論を楽しんでいただきたいと思います。

2022 年 6 月吉日

金沢医科大学医動物学 及川陽三郎 筆

第 29 回 ダニと疾患のインターフェイスに関するセミナー（SADI）金沢大会

開催概要

ホスト：及川陽三郎（金沢医大）、村上 学（金沢医大医動物学）、所 正治（金沢大学国際感染症制御学）

日 程：2022 年 6 月 25 日（土）午後～6 月 26 日（日）

会 場：金沢医科大学 基礎研究棟 5 階 D51 講義室

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学 1-1 TEL：076-286-2211（代表）

連絡先：〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学 1-1

金沢医科大学医動物学教室 及川陽三郎

メールアドレス：oikawa@kanazawa-med.ac.jp

TEL 076-286-2211（内線 3936 及川）携帯（緊急時・会期中）：090-2034-8660

① 日 程

日付	時間	内容
6 月 25 日（土）	12：00-	会場受付、Zoom 入場
	12：50-	オープニングセッション
	13：00-	一般演題や企画
	17：45-	歓迎レセプション
6 月 26 日（日）	8：30-	疫学ツアー（希望者でマダニ採集など）
	12：00-	Zoom 入場（参加者間フリートーク）
	13：00-	一般演題や企画

② 参加費

無料（飲食や送迎バスの提供はありません。お食事を済ませてご参加ください。飲み物については、各種自動販売機が校内にあります。）

③ 宿泊

事務局では宿泊手配を致しませんので、各自お手配ください。

④ アクセス：金沢駅より

- 北陸鉄道浅野川線 北鉄金沢（内灘行き）→内灘→すぐ接続：北陸鉄道バス（鶴ヶ丘住宅線）→ローソン金沢医科大学前 下車（全線通し切符代 590 円：所要時間約 60 分）。
- 自家用車：およそ 30 分（大学駐車場入り口は、大学中ほどの守衛のいるところです。他の入り口は、パスカード専用です）。タクシー：3,910 円、30 分。
- Zoom 参加の方には、6 月 22-23 日に、ID とパスワードをお知らせします。

大会に参加・視聴される方へ

- ① Zoom 参加などの登録は、6 月 22 日以降は対応できないのでご了承ください。
- ② WEB 配信は Zoom を用います。電波状態によって、動画など重いデータは配信できない場合があるためご配慮ください。また、PC や WEB 環境によっては接続不可や中途切断が起こることもあります。ご自身の WEB 環境を確認すると共に、Microsoft Edge や Google Chrome などのブラウザをお使いいただき、Zoom は最新版にアップデートしてください。
- ③ 発表は、各自の居住地・職場からのリモート参加の場合は、各自の PC を使って Zoom を行います。一方、現地参加の場合は、会場の専用 PC を使って Zoom を行います。（現地会場には、無線ルーターを用意し、無線 LAN が使える環境にしますが、混線を防ぐため、会議中は各自の PC で Zoom に入らないでください。）
- ④ 参加者を確認するため、Zoom の表示名は「姓名」をフルネームで入れて下さい。（変更するには、画面下部の「参加者」をクリックし、右側に表示される参加者一覧から自分のお名前のところで、右クリック、「詳細」→「名前の変更」と進めば変更できます。）
- ⑤ WEB で発表をされる場合、雑音をなるべく排除し、発表者の音声をしっかり拾うために、PC 付属のマイクではなく、ヘッドセット（右図参照）の使用を強くお勧めします。（PC 付属マイクで発表すると、音声が聞き取りにくくなります。）
- ⑥ ご自身の発表や質問の時以外は、オーディオをミュートにしてください。（Zoom の画面左下で操作、必要時にはミュート解除して発言。）発言される場合は座長の指示に従ってください。
- ⑦ 発表される際には、ご自身のカメラをオフの状態にしてください。質疑応答の際にはカメラをオンにしてお話してください。
- ⑧ 発表者はすぐに画面共有できるように、ご自身の PC のデスクトップにパワーポイントのスライドを立ち上げて待機してください。なお、演題発表の際に、画面共有操作に自信がない、あるいは、失敗する恐れがある場合は、事前に事務局に発表用スライドをお送りください。（5 MB を越えるデータを送る場合は予めホストにご相談ください。）
- ⑨ 各演題の発表時間は 10 分、質疑応答 5 分を予定しています。発表時間終了を知らせるベルはありません。PC 操作でのタイムロスや通信トラブルも予想されますので、発表時間厳守で円滑な運営にご協力をお願いいたします。
- ⑩ 各演題の座長は、ハイブリット環境の混乱を防ぐため、例年と異なり、現地参加の方の中から、こちらで指定させていただきます。活発な質疑応答をお願いいたします。



◆**後抄録** 講演いただいた演題については、基本的に後抄録をお出してください。大会開催中から閉会後半月内に、1,000 字以内の抄録を大会事務局 oikawa@kanazawa-med.ac.jp 宛で送信ください。

その他

* 会場へのアクセス

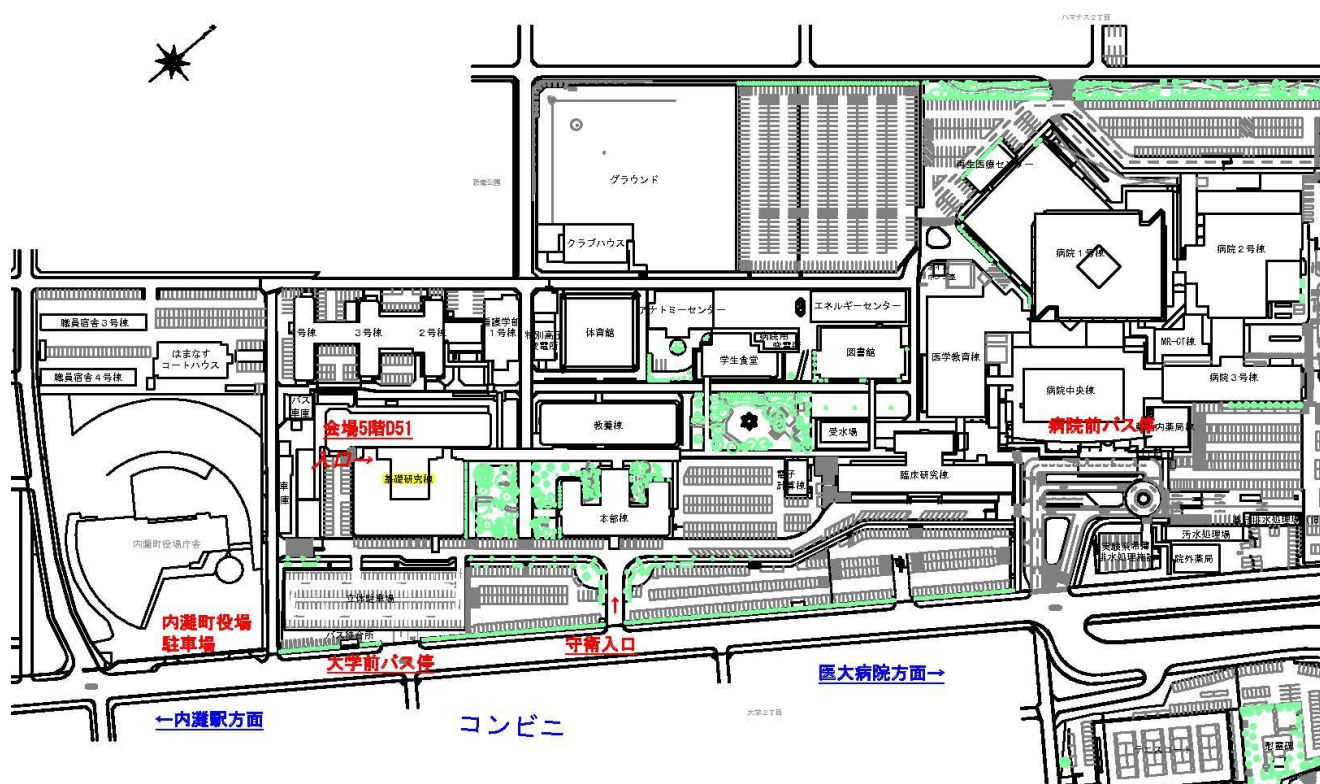
現地参加をされる方は金沢医科大学のアクセスマップをご参照ください。お車の場合、カーナビ設定を「金沢医科大学」としてお越し下さい。高速道路の最寄りには富山方面からは金沢東IC、福井方面からは金沢西ICです。大学の駐車場入り口は、病院用と大学用があります。必ず守衛がいる大学用の入り口からお入りください。

* 宿泊

宿泊される場合は各自で手配をお願いします。大学周辺には適当なホテルがありません。金沢市内でお探してください。

* 感染対策

現地へ来られる場合は、新型コロナウイルス感染を極力防ぐため、予めワクチン接種を受けておいてください。なお、校内ではマスク着用、手指消毒、距離の確保をお願いします。定期的な換気など万全の感染対策を実施します。食事は、外食となります。大学周辺でもお食事は可能ですが、日曜日は休業の店が多いです。できるだけ食事を済ませてご参加ください。



プログラム

2022 年 6 月 25 日（土曜日）

12:00～ 受付・WEB 入室開始

12:50～ 開会の挨拶

12:55～13:40 オープニングセッション（黙祷：藤田博己先生を偲ぶ）

進行：及川陽三郎

✚ 高田伸弘：藤田博己先生の足跡ー津軽から福島へー

✚ 馬原文彦：馬原アカリ医学研究所時代の藤田博己先生
会場に思い出の写真展示

13:45～15:00 一般演題（1）：マダニ関連

1) 邦産カクマダニ属は台湾出じゃなく美ら人

高田伸弘（福井大・医、MFSS）

2) 本邦におけるマダニを利用する節足動物に関する報告

田谷友里恵（北海道大学大学院獣医学研究院）

3) 日本産マダニにおける完全人工吸血系構築へ向けた条件検討

馬場佐織（北海道大学大学院獣医学研究院）

4) 御蔵島におけるミナミネズミマダニの新記録と、ネズミ類、ノネコ、ヒトへの刺咬事例

亘 悠哉（森林総合研究所）

5) 酪農学園大学野生動物医学センターWAMC へ動物園から 2022 年内に寄せられたダニ類相談事例

浅川満彦（酪農大・獣・医動物/野生動物医学センター）

15:05～16:05 一般演題（2）：マダニ関連

6) 東北地方の離島における南方系マダニ類の確認

小峰浩隆（山形大学農学部）

7) 福井県の両白山地における *Ixodes* 属マダニ生息状況

石畝 史（福井県立看護専門学校、医学野外研究支援会）

8) 神奈川県三浦半島におけるイノシシの侵入とマダニ相の変化

土井寛大（森林総合研究所）

9) マダニ刺症患者発生の背景となる動物付着及び環境中マダニの季節消長-2021 年 栃木県足利市の事例

島田瑞穂（自治医科大学健診センター / 足利赤十字病院内科）

16:10～17:40 一般演題（3）：日本紅斑熱と SFTS の臨床

11) 低酸素血症を来した日本紅斑熱の 1 例

川上万里（岡山済生会総合病院 肝臓病センター）

10) コロナ禍の日本紅斑熱

和田正文（上天草市立上天草総合病院）

12) SFTS の CT 画像と刺し口

和田正文（上天草市立上天草総合病院）

13) 富山県で初確認されたイヌの SFTS 症例と飼育環境のマダニ調査

佐賀 由美子（富山県衛生研究所ウイルス部）

14) 妊婦発症の日本紅斑熱

田中宏幸（伊勢赤十字病院感染症内科）

15) 2022 年に経験した重症日本紅斑熱の 2 例

坂部茂俊（伊勢赤十字病院 感染症内科・循環器内科）

17:45～ 歓迎レセプション

歓迎講演：石川県のマダニ刺症とマダニ媒介感染症の概況（及川陽三郎）

🎵 「ダニ音頭」や「ふるさと」などの演奏（youtube）

2022 年 5 月 26 日（日曜日）

8:30～12:00 各自、自家用車やレンタカーをご利用いただいたのダニ捕りツアー（8:15 に金沢医科大学隣の内灘町役場駐車場に集合。末森城跡をご案内予定。帰路で各自ご昼食）

12:00～ WEB 入室開始、参加者間フリートーク

13:00～13:15 資料紹介

馬原文彦：最近のマダニ媒介感染症

13:15～13:40 宿題報告

夏秋 優：ヤマトマダニに刺されてみた

13:50～14:50 ワークショップ：ダニ保有の微生物を探る

世話人：高田伸弘

W1) 大阪府内のマダニにおける SFTS ウイルスおよび紅斑熱群リケッチアの保有状況調査

池森 亮（地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所）

W2) 硬ダニ媒介性回帰熱群ボレリア菌の表面抗原変換メカニズムの解明

竹内友陽（山口大学共同獣医学部）

W3) ツツガムシにおける共生細菌の探索と今後の展開

小川基彦（国立感染症研究所 ウイルス第一部）

15:00 クロージングセッション：ホスト挨拶／組織委員会の事務連絡